

# 日立報 掲示板



## 確定拠出年金 半分が目減り!?

みずほ銀行の専門家を講師に招いての確定拠出年金投資教育セミナーがあった。ここ2、3ヶ月で投資信託の運用が大損失になっており、この先も景気後退が続くと、退職後の確定拠出年金額が半分ぐらいに目減りする人が出てきそうな状況のもとで開かれたもの。信託報酬料も払っているのに二重に損していることになる。元本確保型に変え(スイッチング)ようにも口座番号とパスワードのハガキをどこにやったか分らなくなり、「再発行は1、2週間後」とのこと。政府は超低金利政策で預金から投資へと誘導してきたが、カジノ経済も凋落しようとしている。毎日の株価の上下を気にしながら年金の投資先を考えることより、仕事に専念してもらったほうが会社にとってベターと思われる。(旧国分)

## トイレ直った! ウォッシュレット化も

長期間こわれたままだったある職場の男性トイレ(先月号既報)の個室と洗面台が、最近になって修理されました。しかも、個室の一つは、「1月末までにウォッシュレットにします」の貼り紙が。喜ばしいことです。(情制シ)

## 重大事故でピリピリ

九州電力での度重なる重大事

## 「新型インフルエンザ予防マニュアル」読んで認識あらたに

職場で「新型インフルエンザ予防マニュアル」という小冊子が配られました。

「大流行は起きるか否かではなく、いつ起きるかの問題」「会社でも必要な対策の整備に注力している」として「正しい理解を深めて、必要な準備を」「是非、ご家族でお読みください」という会社の考えを示す日立製作所常務のメッセージが添付されています。

テレビなどである程度は知っているつもりでしたが、一読して改めてその深刻さと備えが必要なことが理解できました。

まわりの人たちに聞いてみましたが、まだ読んでなかったようです。表紙に「対策の第一歩は『知識のワクチン』の接種です」とあるとおりだと思うので、皆さんもぜひ読んでみては。



故とJR東日本で新幹線を半日停めた事故が発生させたことで、非常事態の説明集がもたれた。この納め先の製品にはピリピリして、緊張が高まっている。(旧国分)

## 不払い残業2・3億円

茨城県内8労基署から07年度に、残業に対して割増賃金を支払っていないとして是正指導を受けた事業所は32となり、指導による残業代支払額は2億3808万円に上ることが茨城労働局のまとめで分かりました。支払いを受けた労働者数は1767人。労働者一人当たりでは約13万円。過重労働などに対する関心の高まりで、労働者本人や家族から多数の相談が寄せられ、指導拡大につながったとのこと。(「茨城新聞」報道)

## 日立市の将来は?

さくらシティ 日立閉鎖に関連

して職場での話。「リーマン破たんが日立市にまで及ぶとはビックリだ」「若者は日立で買物してない。ネットとか水戸なんかで買ってるようだ」「イトーヨーカドーも閉店するという話もある」「日立市には若い人が少ない。仕事はしてるけど、住んでない」「街の活性化のビジョンがない」「日立電鉄線の廃線、日立のさくらシティの閉鎖、日立病院のお産休止」と暗い話題ばかりで、日立市の将来は見えない。(情制シ)

## 電機懇アンケート

### みんなの声を

物価上昇、金融不安による景気後退局面で、09春闘は生活防衛と人減らし反対の春闘です。

正社員も派遣・請負社員も、連帯して運動を進めましょう。

みなさんの声をぜひ「電機懇要求アンケート」にお寄せください。